

■ 認知症に関する活動計画（概要）

当士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いている。コロナ禍において、イベント等が行えなくなり、活動制限が大きく影響している。今年度は、可能な限りでの啓発活動を進めていく予定で以下を計画している。

■ 他県士会の方との交流（2021年12月）

埼玉県士会、京都府会の方々との交流会に声をかけて頂き、コロナ禍での活動状況やこれまでの活動紹介等、オンラインでの報告・交流を行った。

■ 認知症の方への作業療法士の関わり 事例集の作成（計画）

認知症対策推進委員会の委員を中心に、認知症の方への臨床での関わりの一部を事例集としてまとめる。まとめたものは、ホームページ等から、士会員がデータで見られるようにすることや、市町村や地域住民等へ配布することを想定している。

■ 認知症の人と家族の会との連携（計画）

全国研修会のサテライト会場の設置や運営を支援する形で関わる予定。

■ 啓発イベントへの協力（計画）

県内で開催される認知症啓発イベントへの参加・協力支援を行う予定。具体的には、図書館での認知症図書展示やRun伴など。

■ 士会員活動実績調査（計画）

士会員への認知症に関する活動実績調査を行う予定。項目として、認知症初期集中支援チームへの関わり、個別地域ケア会議への関わり、認知症カフェへの関わり、認知症の人と家族の会との関わり、地域での認知症関連講座講師、職場内での活動等を想定している。

■ COVID-19の影響・対応など

地域へ向けての活動を主にしていたため、コロナ禍による影響は大きい。県士会主催での対面活動の展開は制限があるため、別団体が主催しているものの支援という形での活動を模索している。

また、過去の県士会活動を通してつながった縁を元に、任意団体の活動につなげて認知症の啓発や学びの場を展開している。任意団体の活動は、作業療法士も参加しており、オンラインでの学びの場づくりや、図書館での認知症図書展示や講演会等のイベント開催をしている。